

社会

ハマサンゴ：すくすく育って400歳 国内最大級――鹿児島・喜界島沖

鹿児島県・喜界島の西側沖合の海底で、国内最大級のハマサンゴが発見された。直径約4メートル、高さ約5メートル。骨格の年輪から約400年間、成長しているとみられるという。

東大海洋研究所の横山祐典准教授と、独立行政法人産業技術総合研究所の鈴木淳主任研究員が発見した。「サンゴは1年で1センチ程度成長しているとみられるが、ここまで大きいものは国内ではまれ」と話している。サンゴの一部を採取し、今後分析するといい「過去の海洋変化や地球温暖化のメカニズムの解明につながる」と期待している。【神田和明】

毎日新聞 2009年7月4日 西部朝刊